

NILLE



いい車はいい旅をつくる

DRIVING TO THE TOP

10th anniversary



studioart

LEATHER INTERIORS

「スタジオアート」

インテリアにアバンギャルドを

トップメゾンも認める高品質レザーを大胆に加工。
 コンテンポラリーでアバンギャルドなデザインが空間を演出する。イタリアの感性が
 キラリと光るレザーウォールという新しいアプローチ。

Text Mayumi Sakamoto



ナチュラルなグラデーションを醸し出す色のバリエーションや12の貼り分けパターン、10種類のレザー、21通りのタイル形状を揃え、フラットとパッドタイプの生み出す立体感や陰影、宝石のようなレザーモザイクを表現する。

革

素材があつたら、傷をつけ
 ないように大事に扱う。ひ
 び割れやシワにならないように、や
 わらかな布で優しく拭く。そんな感
 覚を持つ日本人にとっては、ちよっ
 とまねできない感性かもしれない。
 イタリアのストウディオアートが提
 案するレザーウォール。金属箔や酸
 を使って多種多様な加工を施したレ
 ザーがラグジュアリーな空間を演出
 する。

幾度となく現地に赴き、同社のモ
 ノづくりに触れてきた、アノニモ
 デザインの代表取締役の黒澤哲氏
 は、「インテリアに服を着せるよう
 な新しいアプローチ」と言う。トッ
 プメゾンの革を製作するモンテベッ
 ロ社の社内ベンチャーとしてスター
 ト。伝統と技術に裏付けられた革新
 的なデザインは、建築家が率いる若
 いデザイナー集団によるものだ。

「今年10周年を迎えますが、コンテ
 ンポラリーでアバンギャルドなデザ
 インは常にアップデートされ続けて
 います」。レザーの種類が豊富な上
 に、形や貼り分けパターンが多彩に
 あり、たとえばフラットタイプとパ
 ッドタイプを組み合わせることで立
 体感や陰影も楽しめる。これら。組
 み合わせの妙。によって、まるでオ
 ーダーメイドのようなオリジナリテ
 ィーあふれる空間も実現可能だ。

イタリアでは、住宅をはじめ、ク
 ルーザーや電車の内装にも使われて
 いる。遊び心全開のレザーウォール
 で、インテリアをファッションのよ
 うに楽しんでいけるだろう。